

エネルギー・インフラ



ゼロエミ輸送目指す

エネルギー各社はカーボンニュートラル、クリーンエネルギーの取り組みではユーザー業界も歩調を合わせる。トナミホールディングス(HD)は、中核会社であるトナミ運輸(富山県高岡市)の富山支店(富山市)で電気自動車(EV)トラックを導入で、富山県でも初めてとなる。HD専務は「ゼロエミッション輸送を目指す必要がある。EVトラックの導入を機に、寒冷地で道では珍しい。将来の脱トナミHDは富山県初のEVトラックを導入

再生エネ目標積み増し



中部電力はカーボンニュートラルに向け、21年度度指針「中部電力グループ経営ビジョン2.0」を示した。10年間に1兆円を戦略的分野に投資する。これらにより30年後には再生可能エネルギーを320万キロワットと予想する。30年後には現状よりもエネルギー消費が半減する一方で、電化が比べて目標値を120万キロワットを超過した。

前提として50年には現状よりもエネルギー消費が基本方針は継続する。従来に比べて目標値を120万キロワットを超過した。

進み発電力量は20%増えると予想する。30年ごとに再生エネ供給量を20万キロワットの目標について、従来の自社開発200万キロワットに新指針では顧客先設備などの活用100万キロワットでは、從来の内訳は資源循環200億円、海外4000億円、再生エネ4000億円とする。エネルギーの安定供給、サービス拡大という東邦ガスは50年のカーボンニュートラル達成に20万キロワットを追加。戦略的投資1兆円の内訳は資源循環200億円、海

水素・メタン普及を促進

2050年のカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量ゼロ)達成に向けてエネルギー会社が果たすべき役割は大きく責任は重い。関連各社は総合エネルギー会社として再生可能エネルギーの開発や水素・アンモニアの活用などに取り組む。また、輸送会社も安全向上を図りながらCNへの対応を模索している。

ジタル変革(DX)も活用し、水素・アンモニアの活用、地域サービス、全国展開、国際化、人材育成・技術開発を強化する。

東邦ガスは50年のカーボンニュートラル達成に向け、30年後半は北陸電力グループビジョンを策定するとともに、22~25年

度の新中期経営計画を打ち出した。6月の創立100周年を機に、エネルギー事業を軸に事業領域の拡大も図る。

カーボンニュートラルに向けて、ガス事業では二酸化炭素(CO₂)の分離・回収・利用・貯留などの幅広い取り組みにボンニコートラル達成に向け、30年後半は北陸電力グループ・エナジーソリューション(富山市、北

電力ビズ・エナジーソリューション)が福井県坂井市に太陽光発電所を新設し、発電した電力を全て北陸地域のセブン-イレブン約300店に供給。同発電所の発電出力は6220万キロワット。供給期間は20年間。再生可能エネルギーの地産地消の実現を目指している。

組み合せや分散型リソースの最適利用を進めることから離れた別の場所にある太陽光発電設備から送電線を通じて北陸地域の同社の店舗に送電する「オフサイトPPA電力販売契約」による電力供給を始めた。

春からセブン-イレブン・ジャパンに対して、店舗

国内最大級、田原に

中部電力や東邦ガスなど4社は、このほど田原バイオマス発電所(愛知県田原市)の起工式を開いた(写真)。出力は11万2000キロワットで国内最大級。6月に本工事を開始し、25年9月の運転開始を目指す。JFEエンジニアリング(東京都千代田区)の大下元社長は「各社の強みを生かし、建設・運営を進める」と意気込んだ。

同発電所は三河湾に面する臨海部に立地し、敷地面積は約6万5000平方㍍。年間発電量は約7億700万キロワット時で、一般家庭約25万世帯分に相当する。発電した電力は全て、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)を利用して、一般送配電事業者の中部電力パワーグリッド(名古屋市東区)に1キロワット時当たり24円で売電する。燃料として米国とベトナムから木質ペレットを合計で年間42万~44万トン輸入する計画。これにより中部電が建設中と工事準備中を含めたバイオマス発電所の開発量は合計で約57万キロワット分に上る。総事業費は非公表。

中部電力と東邦ガス、JFEエンジニアリング、東京センチュリーの4社で事業を進める。JFEエンジニアリングは発電所の施工と運営を担当し、中部電は燃料の調達、東邦ガスは受け入れ調整、東京センチュリーは経理業務を担当する。



ら木質ペレットを合計で年間42万~44万トン輸入する計画。これにより中部電が建設中と工事準備中を含めたバイオマス発電所の開発量は合計で約57万キロワット分に上る。総事業費は非公表。

中部電力と東邦ガス、JFEエンジニアリング、東京センチュリーの4社で事業を進める。JFEエンジニアリングは発電所の施工と運営を担当し、中部電は燃料の調達、東邦ガスは受け入れ調整、東京センチュリーは経理業務を担当する。

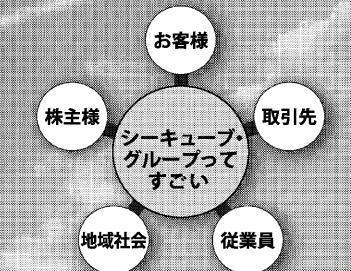
シーキューブ・グループは「すごい会社」を目指しています。

私たちには、みなさまから「シーキューブ・グループってすごい」と言われる会社を目指し、全従業員一丸となって取組んでおります。

C-CUBE 電気通信設備 情報通信システム・ネットワーク

人と技術と感動通信
シーキューブ株式会社

Tel 052-332-8000 URL https://www.c-cube-g.co.jp/



インドに渋滞緩和技術

大規模ITS受注

名古屋電機工業はインド・カルナタカ州都市交通局から高度道路交通システム(ITS)を受注したのを機に、海外事業を拡大していく考えだ。海外向けに製品納入実績はあるが、主に大型システム案件が主となり、大型システム案件を受けるのは初めて。

インド南部カルナタカ州の州都ベンガルールは自動車や公共交通などの産業が集積。人口増加で市内の交通渋滞が慢性化している。ITSで渋滞を緩和し、経済活動の活性化につなげる。交通信号システムを日本信濃(東京都千代田区)から供給を受けれるなど、名古屋電機工業がTTSとして統合と納入を行う。

名古屋電機工業は国内の道路交通システムが主力。これまでインドで道路交通情報の表示・提供方法を確立してきた。

株式会社 JTB

名古屋事業部

〒453-6106
名古屋市中村区平池町4-60-12
グローバルゲート 6F

TEL 052-551-2412

「旅のチカラ」を核とした課題解決型ビジネスを展開。



IGNITE YOUR SPIRIT NGK INTK スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業

セラミックスのその先へ、想像のその先へ。
変えるために、壊す。変わるために、削る。
変化し続けることで、まだ見ぬ未来への道を生み出す。

セラミックスのその先へ、想像のその先へ。

日本特殊陶業の挑戦はすでに始まっている。

未来を面白くするのは、いつも特殊な発想だ。

社会の進化を支える器でありたい。



株式会社ノリタケカンパニーリミテド https://www.noritake.co.jp/

快適なドライブ、安心のフライド、便利なーーコミュニケーション。そんな日常は、ノリタケが食器づくりで培った器でありたい。社会の進化に役立つそのため挑戦を続けています。

セラミックス技術が支えています。

セラミックスのその先へ、想像のその先へ。

変化し続けることで、まだ見ぬ未来への道を生み出す。

セラミックスのその先へ、想像のその先へ。

日本特殊陶業の挑戦はすでに始まっている。

未来を面白くするのは、いつも特殊な発想だ。

